

【西南戦争を掘り・学ぶ事業学習指導案】

令和元年10月23日（水）

霧島市立牧園小学校 6年生 14名

3・4校時（10：40～12：20）

県立埋蔵文化財センター

隈元・湯場崎・尾川（縄文の森）

2 4校時 指導案

(1) 目標

約1万年前の実物の土器・石器に触れたり火起こし体験をすることにより、縄文時代の暮らしぶりを知り、地元にある遺跡・文化財により深く興味・関心を持つようにする。

(2) 実際

過程	子どもたちの活動	時間	センター職員指導及び支援内容	準備・留意点
導入	1 体験活動の概要及び注意事項を聞く。	10	○ 諸注意事項を簡潔に説明する。	(担当) 湯場崎
	2 2つのグループ（1班7人程度）に分かれて、活動に入る。 ※ 体験活動は、3→4の順番で行うグループと、4→3の順番で行う2グループに分ける。		・火起こしをするので、やけど等に気をつける。 ・土器を持つときは両手で持つように指導する。石器は指を切る可能性があるの注意する。	
展開	3 火起こし体験をする。 ・火起こしの実際を見て、学習する。 ・説明を聞いたら、火起こしを行う。	15	○ 安全面に気をつけ、事故のないように配慮する。	(担当) 隈元・尾川 火起こし体験道具セット（10セット程度）
	4 遺物の説明を聞く。 ・土器や石器の使い方や作り方などの説明を聞く。 ・実物を触り、文様や土の質を観察する。	15	○ 簡単に土器・石器の作り方・使い方を解説する。	(担当) 湯場崎 埋文キットの土器・石器
終末	5 上野原縄文の森について話を聞く。	5	○ 縄文の森で行われているイベントなどの紹介をする。	(担当) 尾川

(3) 評価

- ・積極的に体験活動に参加し、興味・関心をもって取り組むことができたか。
- ・地域にある資料（土器・石器）に興味・関心を持って観察し、その使用方法や作製方法などを考えることができたか。